

(別紙3)

文起第1010号 - 1

令和3年9月9日

(施設名) 米子市美術館
(指定管理者) 一般財団法人米子市文化財団
(代表者名) 杉原 弘一郎 様

米子市長 伊木 隆司

令和2年度「米子市美術館」指定管理者業務評価書

施設名	米子市美術館
施設所管課	経済部文化観光局 文化振興課
指定管理者名	一般財団法人米子市文化財団
指定期間	平成23年4月1日 ~ 令和3年3月31日(10年目)

【モニタリング終了後の総評】

【施設所管課】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館や、感染状況を勘案した予約のキャンセルなど例年にはない影響があったものの、臨時企画コレクション展を開催するなど、感染症拡大防止に配慮しつつ鑑賞機会の確保に努めた。また、若手作家支援展では、貸館展示と会期を同時期にすることで、これまで来館機会の少なかった若年層の誘客に繋げるなど、工夫を凝らした。企画展をはじめとするその他の展覧会事業も円滑に行われたことは評価できる。また、収蔵品の管理も適切に行われ、全体として協定書及び事業計画書の基準を遵守し、その水準に沿う管理が実施されていた。

【第三者評価】

① 施設について

- ・新型コロナウイルス感染症対策として、消毒液・アクリルボード・非接触型体温計など必要な設備が適切に設置されている。(同意見多数)
- ・丁寧に施設の維持管理がなされ、清掃も行き届いている。(同意見多数)

② 管理について

- ・新型コロナウイルス感染症への対応もしっかりされていて安心して訪れることができる。(同意見多数)
- ・効率的な人員配置で、多岐にわたり良く管理されている。(同意見多数)

- ・緊急連絡先の記入が徹底されており、万一の感染者発生への備えがしっかりなされていた。

③ 事業について

- ・創意工夫が見受けられた。(同意見多数)
- ・臨時休館や、企画展・市展の中止は大変残念だった。(同意見多数)
- ・若手作家支援展は今後も期待している。
- ・コロナ禍での特別企画展中止、逆に急な美術館スタッフによるコレクション展など本当に大変な事業運営であったと思われる。
- ・コロナの中で行うことは色々大変かと思いますが、そんな時こそ静かな鑑賞での時折の楽しみも大切だと思います。

【今後の業務改善方策等の特記事項】

【施設所管課】

- ・観覧者ニーズを捉えながら事業を企画し、観覧者数が増加することに期待したい。また、第三者評価も参考に更なる運営の向上と、施設の適切な管理を図っていただきたい。

【第三者評価】

- ・老朽化が進む中、修繕やインテリア、コストダウンにつながる空調などの整備を考えていく必要がある。
- ・別棟の収蔵庫を増設してほしい。
- ・階段横のパンフレット等、何か工夫をしてもう少しスッキリ出来ればと思います。
- ・「マツダケン展」等、若手人気作家の企画は若年層の集客に効果があり、今後もこのような企画を期待したい。
- ・中央の作家の作品展をやってほしい。
- ・地域の子どもや若者に地元作家を知ってもらう機会として、希望する小中学校を平日昼間に招待するなど教育機関との連携にも今後期待したい。
- ・一般の方々にもっと美術館に足を運んでいただくきっかけ作りには有名作家の展覧会が効果的かと思う。前例に囚われずあっと驚くような企画を楽しみにしている。
- ・「非日常」を楽しむ場であってほしい。
- ・作品の写真撮影をして良いかどうか表示を分かりやすくしてほしい。

令和2年度下期「米子市美術館」モニタリング評価表〔令和3年8月〕

施設名	米子市美術館	
施設所管課	経済部文化観光局文化振興課	
指定管理者名	団体名	一般財団法人 米子市文化財団
	所在地	米子市末広町293番地
指定期間	平成23年4月1日～令和3年3月31日	
選定方法	公募・非公募	
施設の設置目的	美術に関する市民の知識及び教養の向上に資するため。	
主な実施事業	郷土にゆかりのある優れた作家の美術作品等及び近代以降の版画作品等収集、保管、研究及び展示。 市展、県展、特別企画展、特別共催展、常設展（年間2回）、共催展、若手作家支援展、教育普及事業（ミュージアムスクール・年間3回）等	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認（60点）			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1)管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	協定書に定められた、人員を配置し、管理体制も明確であった。 また、マニュアル等も作成し、感染対策、安全対策をはじめ、危機管理体制、態勢を整え利用者、使用者の安全確保に努めている。 資料等確認、立入検査
(2)職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	指定申請書に基づき、計画的に研修を受講している。 資料等確認
(3)利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	A	4月にホームページをリニューアルし、直近の展示がわかりやすいレイアウトに改善した。特別企画展「異才 辻晋堂の陶彫」では、感染症拡大防止に配慮しながらワークショップ、鑑賞会を実施し出品作への関心喚起、理解促進に努めた。10月からSNS（Twitter）のアカウントの運用を開始、展覧会告知のほか日常のトピックなどを発信、また投票機能を活用しキャッシュレス決済導入に向けたアンケートを実施した。 資料等確認

2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか ※1	B	特別共催展及び市展の中止の影響もあり、例年との比較では入場者数は下回ったが、臨時企画コレクション展を開催するなど、感染症拡大防止に配慮しつつ入場者数の増加に努めた。 台帳確認 補足資料1
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	サポーター制度、委員会、アンケートの実施等により要望把握に努め、適切に実現策をおこなっている。 立入検査、資料等確認
3 保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	協定書に基づき、適切に行われている。 台帳確認、立入調査
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	協定書及び覚書に基づき、適切に実施している。コロナ禍の状況のなかで、消毒をこまめに行った。 台帳確認
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	協定書に基づき業務を適切に実施している。 台帳確認、立入調査
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	第1収蔵庫、第5展示室及びホールのLED化やその他備品の簡易修繕を適切に行ったため。 台帳確認、立入調査
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	B	自主事業計画書に沿って適切に実施された。 資料確認
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	情報公開の実施体制、管理体制を整備し、個人情報保護方針を作成し個人情報を慎重に取り扱っている。 資料確認、立入調査
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	A	施設の現状を正確に把握した上で今後の事業を計画しているため。資料確認
II サービスの質の評価 (25点)			
1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	指定申請書に記載された提案は実施されている。各展覧会やミュージアムスクール等で利用者

			アンケートを実施し、回答は概ね利用者を満足させている内容であった。 資料等確認、立入調査
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	B	協定書に基づき業務を適切に実施している。 立入調査
3 運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	指定申請書に基づき、サービス水準向上策を策定し実施し創意工夫のある内容であった。また、利用者への接遇、対応は適切であった。 資料等確認、立入調査
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	B	ミュージアムスクールとして学芸員レクチャーを行うなど美術への興味を引くものであった。 資料等確認
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	出前講座等の様々なサービスを提案、実施し、芸術鑑賞の機会を提供するだけでなく、市の事業にも参加協力し美術に対する市民の教養等の向上にも取り組み、常に新しい試みを発案実施している。 資料等確認

Ⅲ サービスの安定性の評価（15点）

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか ※2	B	臨時休館及び特別共催展の中止の影響があった。 補足資料2
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※3	B	経営状況分析指標は適切であった。 補足資料3
3 団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	B	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であった。

<p>【総評（所管課評価）】</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、手指消毒液、飛沫防止用アクリルボード及び非接触式体温計の設置、来場記録の把握や定期的な消毒清掃を行い、安心安全な環境を確保している。</p> <p>臨時休館及び特別共催展「草間彌生展」の中止並びに市展の中止等があったが、臨時企画コレクション展「米子市美術館コレクション15選」を開催するなど鑑賞機会の確保に努めている。また、特別企画展「辻晋堂展」、共催展「共に生きるアート展」、常設（コレクション展）Ⅰ「岩宮武二展」、常設（コレクション展）Ⅱ「杵島隆展」、若手作家支援展「マツダケン展」などを実施。いずれの展覧会事業も感染状況を注視しつつ行われ、教育普及事業もミュージアムスクール、ワークショップなどの様々な展覧会関連事業を感染状況を勘案し、管理運営を行っている。</p>	<p>合計点 (66) 点 / (100) 点 × 100 = (66)</p> <p>平均点 (3.3) 点</p>
--	---

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A（優良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）

B（良好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔令和2年4～ 令和3年3月〕A	前年度〔平成31年4～ 令和2年3月〕B	対比 A-B、A/B		対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数(注1)	276(228)	320(246)	-44	86.25(%)	
施設利用者数	59,311	108,916	-49,605	54.46(%)	前年度増による
施設稼働率(注2)	82.6%	76.8%	5.8	107.55(%)	
事業開催数	10	12	-2	83.33(%)	

(注1) ()の数字は展示日数

(注2) 施設稼働率 展示日数/開館日数 により算出

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔令和2年4～ 令和3年3月〕A	前年度〔平成31年4～ 令和2年3月〕B	対比 A-B、A/B		対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
指定管理料	52,656,000	52,560,000	96,000	100.18(%)	
使用料収入	2,696,942	2,668,349	28,593	101.07(%)	
事業収入	1,793,369	4,616,225	-2,822,856	38.85(%)	事業形態、臨時休館による
補助金等	1,856,800	0	1,856,800	0(%)	補助金活用による
雑収入	260,415	434,949	-174,534	59.87(%)	広告料減による
負担金	0	0	0	0(%)	
合計	59,263,526	60,279,523	-1,015,997	98.31(%)	

(2) 支出

項目	本年度〔令和2年4～ 令和3年3月〕A	前年度〔平成31年4～ 令和2年3月〕B	対比 A-B、A/B		対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
人件費	27,544,140	26,654,330	889,810	103.34(%)	
施設管理費	15,593,541	17,497,853	-1,904,312	89.12(%)	
事業費	12,493,541	9,294,548	3,198,993	134.42(%)	事業形態による
委託費	4,907,980	4,473,366	434,614	109.72(%)	
事務局経費	3,205,000	4,025,000	-820,000	79.63(%)	収支予算による
合計	63,744,202	61,945,097	1,799,105	102.90(%)	

※3 経営状況分析指標

項目	本年度〔令和2年4～令和3年3月〕A	前年度〔平成31年4～令和2年3月〕B	対比 A-B、A/B		備考
① 事業収支	-4,480,676	-1,665,574	-2,815,102		
② 利用料金比率	4.55%	4.4%	0.15	103.41 (%)	
③ 人件費比率	43.2%	43.0%	0.2	100.47 (%)	
④ 外部委託費比率	7.69%	7.2%	0.49	106.81 (%)	
⑤ 利用者当たり管理コスト	1074.7	568.7	506	188.97 (%)	
⑥利用者当たり自治体負担コスト	887.8	482.5	405.3	184.00 (%)	

①事業収支：(収入-支出)

事業全体が黒字で施設の管理運営ができていのかどうか確認する。赤字の場合は管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

②利用料金比率：(利用料金収入/収入)

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

③人件費比率：(人件費/支出)

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎていないか、逆に費用がかかりすぎていないかを確認する。

④外部委託比率：(外部委託費合計/支出)

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

⑤利用者当たり管理コスト：(支出/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

⑥利用者当たり自治体負担コスト：(指定管理料/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

※4 団体等の経営状況 (年度毎下期に実施し、上期では行いません。)

項目	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	備考
①自己資本比率	51.0%	55.1%	44.9%	62.8%	44.8%	
②流動比率	238.4%	281.4%	191.7%	323.6%	196.3%	
③固定長期適合率	15.9%	15.6%	11.2%	11.0%	12.6%	
④総資産経常利益率	7.6%	2.3%	4.4%	-0.5%	-8.1%	
評価	(以上の指標を参考に評価する。)					

※貸借対照表と損益計算書を基に計算。太枠内に今年度の数値を記載し、左側に過去4年分を記載。

①自己資本比率

総資産(資産合計)に占める自己資本(純資産合計)の割合を示した指標。どれだけ借金に頼らず経営をしているかを示す。比率が高いほど借金(負債合計)に頼る割合が低く、経営が安定していることを示す。一般的には、70%以上なら理想企業、40%以上なら倒産しにくいとされている。

$$\text{自己資本比率 (\%)} = \text{自己資本} \div \text{総資本} \times 100 \quad \text{【例】 } 800 \div 2,000 \times 100 = 40.0\%$$

②流動比率

団体の短期的な支払い能力を示す指標。1年以内に現金化できる試算を「流動資産」、1年以内に支払いを要する負債を「流動負債」と言い、「すぐに準備できるお金」と「すぐに返さないといけないお金」のバランスを比較する。流動資産(すぐに準備できるお金)の方が多く、支払い能力が高いことを示す。100%以上であれば問題ない。100%未満であれば資金繰りが苦しい

とされる。

流動比率 (%) = 流動資産 ÷ 流動負債 × 100 【例】1,100 ÷ 700 × 100 = 157.1%

③ 固定長期適合率

固定資産をどの程度、自己資本（純資産合計）と固定負債で賄っているかを示す指標。土地や建物など、この先1年以上換金できない、または換金しない固定資産を返済義務のない自前の資金である自己資本（純資産合計）と長期で調達したお金（固定負債）でどれだけ賄えるかを見る。100%未満であれば問題ないが、100%以上の場合は固定資産の維持調達について流動負債にも依存していることを示すことから、資金繰りが苦しいと考えられるとされる。

固定長期適合率 (%) = 固定資産 ÷ (固定負債 + 自己資本) × 100 【例】900 ÷ (500 + 800) × 100 = 69.2%

④ 総資本経常利益率

団体の総合的な収益力を示す指標。団体の総資産（資産合計）に対して、どれだけ経常利益を稼ぎ出しているかを示す。比率が高いほど資本を効率的に運用し、収益を上げている。

総資本経常利益率 = 経常利益 ÷ 総資本 × 100 【例】200 ÷ 2,000 × 100 = 10.0%

■ 貸借対照表 (例)

【資産の部】	【負債の部】
流動資産	流動負債
現金及び預金 400	買掛金 400
受取手形 500	短期借入金 300
有価証券 200	流動負債合計 700
流動資産合計 1,100	固定負債
固定資産	社債 300
建物及び構築物 200	退職給付引当金 200
土地 500	固定負債合計 500
投資有価証券 200	負債合計 1,200
固定資産合計 900	【純資産の部】
	資本金 600
	利益剰余金 200
	純資産合計 800
資産合計 2,000	負債純資産合計 2,000

■ 損益計算書 (例)

売上高	3,000
売上原価	1,200
売上総利益	1,800
販売費及び一般管理費	1,200
広告	700
人件費	500
営業利益	600
営業外収益	200
受取利息	200
その他	0
営業外費用	600
支払利息	200
社債利息	0
経常利益	200
特別利益	100
外国為替	100
特別損失	50
固定資産売却損	50
税引前当期純利益	250
法人税・住民税等	50
当期純利益	200

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

○グッズの数が少ない。ポストカードの種類を増やしてほしい。
対応：要望の多いグッズについてアンケートによるリサーチを行い、令和3年度以降順次新規製作予定。
○上映会の字幕が見づらい部分がある。映像がもう少しクリアだとよい。
対応：吹き替え音声によるもの、もしくは映像ソフトの製作年が新しいものを選定する。

6 利用者アンケートの結果

臨時企画コレクション展

○ひとつひとつにスタッフの方の想いが感じられてよかったです。日頃、美術館は敷居の高さを感じがちですが、来てよかったです。
(30代女性、鳥取市)

○ゆったりと見ることができました。このような企画を今後もお願いします。(60代女性、南部町)

○仕事中にちょっと空き時間があり立ち寄りました。15点という数も疲れず、本当に良い企画だと思いました。定期的にしてもらいたいと思いました。(60代女性、大山町)

特別企画展「異才 辻晉堂の陶彫」

○想像以上に大きい作品が多く見ごたえがあった。(40代女性、伯耆町)

○作品を一方からだけでなく、ぐるりと見られて楽しかったです。(20代女性、米子市)

○おしゃべり鑑賞会が楽しかったので、コロナで大変だとは思いますがまた企画してください。(50代女性、松江市)

○ワークショップ「はじめての陶彫」に参加：陶彫をするのは初めてで、人によって表現の仕方が大きく変わる、とても奥深いものだと感じました。自分の感じたままにつくっていくのは、とても難しく思うように行かない部分もあったけど、とても良い体験ができたと思います。(10代女性、大山町)

○ワークショップ「はじめてのリトグラフ」に参加：技法としては知っていたリトグラフをはじめて経験することができてとてもおもしろかったです。今後何かの作品をみたときに、今までと違う見方ができるのではと今から楽しみです。(40代女性、米子市)

常設（コレクション）展I「岩宮武二 目前心後」

○山陰は隠れた写真王国です。もっと写真家単独の展覧会が開催されることを願っています(30代女性、鳥取市)

○ポストカードが1種類だったので、数を増やしていただきたいです(40代女性、米子市)

○他の岩宮作品も見たい。(50代男性、米子市)

○《マヌカン》の説明文に涙が出ました。佐渡のきびしい気候とそこに住む人々の姿、風景に感動(60代女性、岡山県)

○今回の県立博物館とのコラボは展示作品を充実したものにするためにとても効果的だと思います。今後も同様の工夫を期待しています。(60代男性、米子市)

常設（コレクション）展II「杵島隆：不滅のパイオニア精神」

○モノクロ作品しか知らなかったのので、カラー写真の大型のものには驚きました。和紙を使用したり、様々な技法を試してみたりと実験的な作品が多く楽しめました。(30代女性、鳥取市)

○《老婆像》は土門拳の評のとおりで、皴に刻まれた老婆の歴史を考えると見入ってしまった。米軍が駐留していた当時の美保基地を撮った作品は大変貴重なのでこれらをテーマにまた企画してほしい。(40代男性、境港市)

○年譜や作品紹介文が要所にあってとても参考になる。どういう作家であったのかを理解を深めることができた。(70代男性、米子市)

若手作家支援展「マツダケン展 みせられるもの」

○じっくり見たがりなので、すべてを見終わり2周目に入るところには2時間経っていました。疲労感を感じさせない圧倒的満足感。(20代女性、倉吉市)

○いつも携帯の画面でしか作品を見れていなかったのので、実物を見られて感動しました(30代男性、広島市)

○本展のように、地元の作家の作品をもっと観たいと思うので、これからもぜひ取り上げて頂きたいです。(30代女性、米子市)

○《存在》はTwitterで拝見していましたが、実物は素晴らしかった。タイトルの意味がよくわかります。(50代女性、米子市)